

2018年12月26日

【新規格付】**スルガ銀行**

発行体格付： BBB－ [格付の方向性：安定的]

短期債務： a－2

格付投資情報センター(R&I)は上記の格付を公表しました。

【格付理由】

静岡県沼津市を本拠とする地域銀行。静岡県・神奈川県を地元と位置付けつつ、広域展開を志向している。徹底したリテール特化戦略が特徴。豊富なデータベースを活用した顧客特性の分析や商品開発により、他行では対応が難しい顧客層を開拓し収益化する能力に優れる。

創業家による強いリーダーシップが独自のビジネスモデルを構築する原動力になったが、次第に利益至上主義の企業文化が醸成され、そのひずみがシェアハウスローンの不正問題として顕在化した。営業優位が過度に強まり、ガバナンスが適正に機能していなかった状況が浮き彫りになった。

問題を受け、取締役会の過半を社外取締役が占める体制にし、監督機能を強めた。現在、創業家の経営への関与は断ち、資本関係の解消に向け交渉を進めている。主要な原因への対応にはメドを付け、同様の事態が再発するリスクを減らした。各種管理態勢の整備に着手している。

主に属性の良い顧客層を狙う他行と差別化する戦略ゆえ、リスク選好度は高い。抱えるリスクは信用リスクが主体で、現在は投資用不動産融資のウエートが大きい。一連の問題を受けた対応で信用リスク量は大きく増えたが、資本は質・量ともに充実しており、リスク耐久力は依然として強い。

自己査定を保守的に見直し、質が著しく劣化していたシェアハウスローンと創業家の関連企業向け融資への財務上の手当ては終了。残る融資について、延滞率やデフォルト率は他行に比べ高い。一定のリターンは確保しているものの、資産の質は良好とはいえない。審査態勢の強化に向け各種データの整備中だ。

差別化戦略を反映し貸出金利回りは高く、店舗軽量化や事務の本部集中で経費効率も良い。今後は、目標リターンを若干下げつつ新しいニーズを探り、顧客層を広げる。与信費用がかさみやすいことや、投資用不動産融資の高い期限前返済率を考慮しても、収益力はなお高い水準を堅持できよう。

現在の手元流動性や対応策を踏まえると、流動性が逼迫する状況は考えにくい。とはいえ、資金余剰の環境下、ペースは緩やかになりつつも、預金流出は続いている。コアとなる預金の調達力や調達基盤の安定性が十分とは言えない。流動性に抱える課題が信用力を制約している。

以上を踏まえ、発行体格付をBBB－、短期債務格付をa-2とした。格付の方向性は安定的。営業基盤や収益力、リスク耐久力にはプラスに評価できる要素がある。ガバナンス改革の実効性を着実に上げるなどして、預金の流出に歯止めをかけることが、信用力の向上に不可欠だ。

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp
■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付(変更・取り下げ等を含む)に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html>をご覧ください。

【格付対象】

発行者：スルガ銀行（証券コード：8358）

名称	格付	格付の方向性
発行体格付	BBB-（新規）	安定的

名称	格付
短期債務	a-2（新規）

■お問合せ先：マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先：経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

株式会社格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。

信用格付に関わる事項

信用格付業者 登録番号	株式会社格付投資情報センター 金融庁長官（格付）第6号 直近一年以内に講じられた監督上の措置は、ありません。
主任格付アナリスト	石野田 雄太
信用格付の付与について 代表して責任を有する者	住田 直伸

信用格付を付与した日	2018年12月26日
主要な格付方法	事業法人等の信用格付の基本的な考え方 [2018. 05. 31] 金融機関等に共通する格付の考え方 [2017. 03. 07] 預金取扱金融機関 [2015. 12. 21]
上記格付方法は、格付を行うにあたり考慮した他の格付方法とともに以下のウェブサイトに掲載 しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_method.html	
評価の前提は、以下のウェブサイトの格付付与方針に掲載しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_grant.html	
格付符号とその定義は、以下のウェブサイトに掲載しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/definition.html	
格付関係者	スルガ銀行
注 格付関係者は、金融商品取引業等に関する内閣府令第三百七条に基づいて、R&Iが判断したものです。	
利用した主要な情報	決算書類、開示情報
品質確保のための措置	公認会計士の監査済みである、またはそれに準じた信頼性が確保されて いる決算書類であること。一般に開示された、またはそれに準じた 信頼性が確保されている情報であること。
情報提供者	格付関係者
信用格付の前提、意義及び限界	
R&Iの信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約 定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見です。R&Iは信用格付によって、個々の債 務等の流動性リスク、市場価値リスク、価格変動リスク等、信用リスク以外のリスクについて、何 ら意見を表明するものではありません。信用格付は、いかなる意味においても、現在・過去・将来 の事実の表明ではありません。また、R&Iは、明示・黙示を問わず、提供する信用格付、又はその 他の意見についての正確性、適時性、完全性、商品性、及び特定目的への適合性その他一切の事項 について、いかなる保証もしていません。	
R&Iは、信用格付を行うに際して用いた情報に対し、品質確保の措置を講じていますが、これら の情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。R&Iは、必要と判断した場合 には、信用格付を変更することがあります。また、資料・情報の不足や、その他の状況により、信 用格付を保留したり、取り下げたりすることがあります。	
利息・配当の繰り延べ、元本の返済猶予、債務免除等の条項がある債務等の格付は、その蓋然性 が高まったとR&Iが判断した場合、発行体格付又は保険金支払能力とのノッチ差を拡大することが あります。	

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

株式会社格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。